







## はじめに

このたびは USB キー CR-UK3 をお買い上げいただき誠にありがとうございます。 本ソフトウェアユーザーズガイドでは、CR-UK3 を利用した機能の説明や利用方法につ いて説明しています。あらかじめクイックセットアップを参照して、USB キーのドライ バと G-Lock のインストールとシリアル番号の入力を行い、USB キーが利用できる状態 にしたうえでお読みください。

シリアル番号とパスワードは忘れないようにしてください

ドライバのインストール時に入力したシリアル番号と設定したパスワードは忘れ ないようにしてください。 同じ割号(USB キー)であっても、シリアル番号とパスワードが異なる場合 CLook

回し製品(USB キー) であっても、シリアル番号とバスワートが異なる場合、G-LOCK は異なる USB キーであると判断します。そのため、ロック機能が有効中の場合は、 新しい USB キーを購入してもロックが解除できません



# もくじ

もくじ
USBキーで使えるセキュリティー機能 ・・・・・・ 3
シリアル番号とパスワードは忘れないようにしてください・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4
G-Lockを操作するには、Administrator権限が必要です・・・・・・・・・・・・・・・・・4
バーチャルディスク機能を使う ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5
仮想のドライブを作成するには・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
ドライブを変更するには・・・・・ 8
ドライブを削除するには・・・・・・9
ドライブをバックアップするには・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10
ドライブをリストアするには・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・11
WebロックやPCロック機能を使う ・・・・・13
ログオン機能を使う ・・・・・・15
ログオフ機能を使う・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・18
ログを表示する ・・・・・・20
主要キー機能を使う ・・・・・21
制限できる機能・・・・・・21
主要キー機能の利用例・・・・・・22
主要キー機能を使う・・・・・23
G-Lockのバージョンを表示する ・・・・・26
合鍵をつくるには ・・・・・・27
G-Lockをアンインストールする ・・・・・28
<i>こ</i> まったときは ······29



## USB キーで使えるセキュリティー機能

USB キーで使用できるセキュリティー機能には、次のものがあります。



#### ■バーチャルディスク機能

USB キーをパソコンに接続している間だけ、あらかじめハードディスクで作成しておい た仮想のドライブを使用することができます。 USB キーをパソコンから取り外すとドライブは表示されません。



バーチャルディスク機能のドライブは、USB キー本体にファイルが保存されるわけではありません。 ハードディスク上に暗号化されたエリア(ドライブのイメージファイル)を作成しておき、USB キーを 接続したときのみドライブとして表示しアクセスできるようにします。



ハードディスク上に作成されたドライブのイメージファイルを削除すると、ドライブに保存されてい たデータも失われます。ハードディスクをフォーマットするときなどに誤って消してしまわないよう に注意してください。イメージファイルをコピーすることでドライブをバックアップすることもでき ます。

#### ■Web ロック機能

USB キーをパソコンから取り外すと InternetExplore(6.0 かそれより 新しいバージョン)を一時的にロックして利用できなくします。 InternetExplorer を実行しようとすると、「Access Denied」とロッ クしている旨のエラー画面を表示します。



InternetExplorer5.0(それより古いバージョンも含む)および InternetExplorer 以外の web ブラウザにはロックがかかりません。

#### ■PC ロック機能

USB キーをパソコンから取り外すとすぐにスクリーンセーバーが起動し、何も操作を受 け付けません。再び USB キーをパソコンに接続すると、スクリーンセーバーが解除さ れます。 PC ロックを有効にし、さらに USB キーを接続していない状態でパソコンを起動すると、

パソコン起動後すぐにスクリーンセーバーが起動します。

#### ■主要キー機能

複数の USB キーを利用して運用する場合に設定します。 特定の USB キーを管理者用のキー(主要キー)として設定し、その他の USB キーの動作 を制御します。 例えば学校などで USB キーを運用する場合、先生が管理者用の USB キーを1つ所持し、 生徒も USB キーを持ちます。生徒が持つ USB キーは管理者用 USB キーの設定により、 あらかじめ許可された機能のみ利用できます。

#### ■ログ表示機能

USB キーを利用したログイン/ログアウトのログを表示します。 ログの表示には、自動ログイン機能を有効にしてください。

#### ■自動ログイン機能

USB キーをアカウント入力待ち状態のパソコンに取り付けると、あらかじめ設定してお いたユーザーアカウントで Windows にログインします。



### ■自動ログオフ機能

USB キーをパソコンから取り外すと、自動的にログオフし、パソコンはログオンの入力 待ち状態になります。

### シリアル番号とパスワードは忘れないようにしてください

ドライバのインストール時に入力したシリアル番号と設定したパスワードは忘れない ようにしてください。

同じ製品(USB キー)であっても、シリアル番号とパスワードが異なる場合、G-Lock は 異なる USB キーであると判断します。そのため、ロック機能が有効中の場合は、新し い USB キーを購入してもロックが解除できません。

USB キーをなくしてしまったり、合鍵を作ることで複数の人数で USB キーを有効にし たいときなど、同じ機能を持つ USB キーを複製できます。USB キーを複製するにはシ リアル番号とパスワードが必要です。必ず忘れないようにしてください。 USB キーを複製する方法については、「合鍵をつくるには」を参照してください。



シリアル番号やパスワードをメモした場合、メモした内容を第 3 者に知られないようにしてくださ い。シリアル番号とパスワードを知られてしまうと、知らない間に合鍵を作製されてしまいます。

### G-Lock を操作するには、Administrator 権限が必要です

G-Lock を操作するには、Administrator 権限を持ったユーザーでパソコンにログオン しておくことが必要です。

#### Administrator とは...

Administrator とは、アドミニストレータと読み、パソコンの管理者(権限)のことを指します。

パソコンのファイルを削除したり、新しい周辺機器をパソコンに追加するときにドライ バをインストールするなど、さまざまな権限が付与されています。

Administrator 以外の制限された権限が設定されているユーザーでは、G-Lock が操作 できないことはもちろん、周辺機器のインストールができません。G-Lock を操作する には、Administrator 権限を持ったユーザーでパソコンにログオンしておくことが必要 です。



日常的に操作するユーザーを Administrator 権限を持つユーザーに設定しておくと、使用するパソ コンに対して、制限なくいつでもどのようにでも設定変更が可能になります。便利なのですが、離席 中に第3者がパソコンを操作して悪用するなどのリスクが発生します。

## バーチャルディスク機能を使う

USB キーをパソコンに接続している間だけ、あらかじめハードディスクで作成しておい た仮想のドライブを使用することができます。 USB キーをパソコンから取り外すとドライブは表示されません。



127 バーチャルディスク機能のドライブは、USB キー本体にファイルが保存されるわけではありません。 ハードディスク上に暗号化されたエリア(ドライブのイメージファイル)を作成しておき、USB キーを 接続したときのみドライブとして表示しアクセスできるようにします。

重要なデータは必ずバックアップしてください。 ハードディスク上に作成されたドライブのイメージファイルを削除すると、ドライブに保存されてい たデータも失われます。ハードディスクをフォーマットするときなどに誤って消してしまわないよう に注意してください。イメージファイルをコピーすることでドライブをバックアップすることもでき ます。 イメージファイルの一部分でも破損すると、ドライブに含まれているすべてのファイルにアクセスで

きなくなります。実際のハードディスクの場合は、ドライブに含まれる一部のファイルが壊れると一 部のファイルのみアクセスできなくなりますが、バーチャルディスクはひとつのファイルの中にドラ イブの内容が保存されるため、一部でも破損するとドライブ全体にアクセスできなくなります。重要 なファイルはバーチャルディスクに保存しないか、またはバーチャルディスクのイメージファイルを こまめにバックアップしてください。



√ 複数のアカウントで同じバーチャルディスクを使用する場合は、他のアカウントがアクセスできる フォルダに配慮して、イメージファイルを作成してください。 現在使用中のアカウントでアクセスできていても、他のアカウントでアクセスできない場合は、イ メージファイルを使用できません。



## 仮想のドライブを作成するには

USB キーを接続している間だけ使用できる仮想のドライブをハードディスク上に作成 します。複数のドライブを作成できます。 USB キーをパソコンから取り外すとドライブは表示されません。

Windows®XP/2000の場合は、管理者(Administrator)権限を持つユーザアカウントでWindowsに **.** ログオンしてください。



- 複数のアカウントで同じバーチャルディスクを使用する場合は、他のアカウントがアクセスできる フォルダに配慮して、イメージファイルを作成してください。 現在使用中のアカウントでアクセスできていても、他のアカウントでアクセスできない場合は、イ メージファイルを使用できません。
  - ✓本製品をパソコンのUSBポートに接続します。

**2** タスクトレイに表示されているG-Lockアイコンをダブルクリックします。



**3** 📓 ボタンをクリックします。

ドライブを追加する画面が表示されます。

4 新しく作成する仮想のドライブの設定を入力します。

すでに存在しているドライブ文字は使用できません。

ドライブ設定(追加)	
割当ドライブ文字	サイズ(MB)
H:	• 50 ÷
ストレージドライブ	暗号化先ドライブサイズ
C:	• 28792
暗号化ファイル名称	
h_drive	リストア
	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・



リストア ボタンは、あらかじめバックアップしておいた仮想のドライブファイルを復元す るときに利用します。

**5** <u>確定</u> ボタンをクリックします。

仮想ドライブが作成され、手順2で表示された画面に戻ります。





<b>0</b> (	 G-Lock を閉じま	<sup>動用</sup> ます。	ボタン	シをクリック	クします。		
<b>7</b> v u ;	NindowsXPを します。Windo スクトップにあ	お使いの方は ws2000 やW るマイコンピ:	「スタート VindowsM ュータをダ	」メニュー 1eおよびW `ブルクリッ	ーマイコ indows9 クします	ンピュ- )8 をお( 。	ータをク 使いの場
Ţ	マイコンピュー・ マイコンピュータ	タが表示される	ます。				
	ファイル(E) 編集(E) 表示(V)	お気に入り(A) ツール(T) 🔎 検索 🌔 フォルダ 🔢	~,1,7(H) ]▼			<i></i>	
	דיאראיז 🕄 ארידיא 🕅 איין איין איין איין איין איין איין איי				*	▶ 移動	
	<ul> <li>システムのタスク</li> <li>システム情報を表示する</li> <li>プログラムの追加と削除</li> <li>○ 設定を変更する</li> </ul>	* - <del>51</del>	ディスク (C.) ディスク (H.)		(D:) אכאב		
	<ul> <li>その他</li> <li>マイ ネットワーク</li> <li>マイドキュメント</li> <li>共有ドキュメント</li> </ul>	*	ወドキュメント				
	ジョントロール パネル 詳細 マイニンピュータ	۲					
	9777 78149						
∎ ≢ 8	手順4で作成し	たドライブを	ダブルクリ	ーックします マーント ま	- 。 才		
8	手順4で作成し フォーマットを フィスクはフォーマットを フィスクはフォーマットを パン (30,000) (	たドライブを してよいか確 9	<b>ダブルクリ</b> 認の画面が	ッ <b>クします</b> 表示されま	<b>ਂ</b> ਰੁੱ <sub>°</sub>		
8 : 9	手順4で作成し フォーマットを 7420079-マットをれていま	たドライブを してよいか確認 してよいか確認 (************************************	ダブルクリ 認の画面が さい。 吏用できま	ッ <b>クします</b> 表示されま す。	- , す。		
8 9	手順4で作成し フォーマットを 7.420はフォーマットされていま1 ♪ ドライブ H のディスクはマ マットではまれ ごれでつ () フォーマットを フォーマットを フォーマット後、 フォーマット後、 フォーマット後、 フォーマット後、 フォーマット後、	たドライブを してよいか確 はっていません。 パーマットSNTCUません。 パーマットSNTCUません。 パーマートででは なってったらてくださ 、ドライブを付 (01) <b>?区</b>	<b>ダブルクリ</b> 認の画面が <b>さい。</b> 吏用できま	<b>ックします</b> 表示されま す。	- す。		
9	手順4で作成し フォーマットを アイスクはフォーマットを アイスクはフォーマットを マオクマットはオオ (武元の) ( マスカーマットを フォーマット後、 フォーマット後、 フォーマット後、 フォーマット後、 フォーマット後、 アオーマット後、 アオーマット後、 アオーマット後、 アオーマット後、 アオーマット後、 アオーマット後、 アオーマット後、 アオーマットを フォーマットを フォーマットない ( 第二、) アカーションサイズ ポリコーム ラベル()	たドライブを してよいか確 	ダブルクリ 認の画面が さい。 使用できま	<b>ックします</b> 表示されま	- す。 フォーマ3 い	ット中 - ローカル フォーマットが完 ○OK	·ディスタ(43) (**) (*)
8 : 9 :	手順4で作成し フォーマットを ブインロフォーマットをれていま ドチイフトのディンはオ (はいい) (はいい) (はいい) (ないい) マオーマットを: フォーマット後、 フォーマット後、 フォーマット後、 フォーマット後、 フォーマット後、 フォーマット(本、 (ない) (本の) ロケーション・ユニットサイズ(の) (本の) (本の) (本の) (本の) (本の) (本の) (本の) (	たドライブを してよいか確 やってりいれていません。 pp またうしてくださ 、ドライブを付 (+) 2区 ・ ・ ・ 、 ドライブを付	ダブルクリ 認の画面が さい。 使用できま Windov	<b>ックします</b> 表示されま す。 wsXP の場	- す。 テ	ット中 - ローカル 7ォーマットが完 OK	. ディスク (H) ( :7しました。
9	手順4で作成し フォーマットを ティスクはフォーマットを ティスクはフォーマットを ティスクはフォーマットを マオーマットを フォーマットを フォーマット後、 フォーマット後、 フォーマット後、 フォーマット後、 フォーマットが、 マカーマットが、 マカーマットが、 マカーマシーカージー (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	たドライブを してよいか確 	ダブルクリ 認の画面が さい。 使用できま Window	<b>ックします</b> 表示されま す。 wsXP の場	-, す。 -	ット中 - ローカル フォーマットが元 ○OK	テロタ (43) (7しました。



## ドライブを変更するには

作成済みの仮想ドライブのドライブ文字を変更できます。容量などは変更できません。



Windows®XP/2000 の場合は、管理者(Administrator)権限を持つユーザアカウントでWindowsに ログオンしてください。

ドライブ文字の変更の場合、フォーマットは必要ありません。また、ドライブに保存されているファ イルも失われません。

- ✓ 本製品をパソコンのUSBポートに接続します。
- 2 タスクトレイに表示されているG-Lockアイコンをダブルクリックします。 G-Lock が表示されます。

SG-Lock								
追加	副除	<b>运</b> 。 編集	<b>省</b> 設定	<b>ロ</b> グ	<b>《</b> 情報			
ELECOM					- 23			
ID F	ライブ	サイズ()血	B)					
0 H:		50						
適用								
100H								
< ELEC	XOM							

- **3**変更するドライブを選択し、 ボタンをクリックします。 ドライブを変更する画面が表示されます。
- 4割り当てるドライブ文字を選択します。 すでに存在しているドライブ文字は使用できません。

ドライブ設定(変更)	
割当ドライブ文字	サイズ(MB)
J: -	50 *
ストレージドライブ	暗号化先ドライブサイズ
C:	
暗号化ファイル名称	
h_drive	バックアップ
	確定取り消し

✓ バックアップ ボタンは、ドライブをバックアップするときに利用します。

**5** \_\_\_\_\_\_ ボタンをクリックします。

ドライブ文字が変更され、手順2で表示された画面に戻ります。

	G-Lock					
	-	*	Ę	Ĩ		۲
	追加	削除	編集	設定	ログ	情報
	ELECOM					- 23
ſ	ID FE	ライブ	サイズ(M	B)		
U	0 J:		50			
	< ELEC	:OM				
6			適用			ボク
	G-Lock	、を閉	じます	0		



## ドライブを削除するには

作成済みの仮想ドライブを削除します。

- ・Windows®XP/2000の場合は、管理者(Administrator)権限を持つユーザアカウントでWindows にログオンしてください。
  - ・ドライブを削除すると、ドライブに保存されていたデータも削除されます。必要なファイルはあら かじめコピーしておくなどバックアップしてください。
  - ✓本製品をパソコンのUSBポートに接続します。
  - **2** タスクトレイに表示されているG-Lockアイコンをダブルクリックします。

G-Lock が表示されます。

G-	Lock							
」 追	<b>3</b> 加	<b>※</b> 削除	<b>二</b> 編集	<b>新</b> 設定	ログ	<b>《</b> 情報		
ELEC	:OM					- 8		
ID	ドラ	ライブ	サイズ(M	3)				
0	Η:		50					
適用								
	ELECT	าห						
~	LILLO							

3 削除するドライブを選択し、 満 ボタンをクリックします。

ł	確認の	画面が	「表示さ	れます	ţ,				
	ドライブを滑	も去する							
		実行しますか ・	? いえ( <u>N</u> )						
4	(IIII)	ボタ	ンをク	リック	フします	す。			
	ドライ	ブが削	除され	、手順	頁2で	表示さ	れた画面	に戻りま	す。
- 1	🔏 G-Lock								
	追加	₩ ● 削除	<b>二</b> 編集	<b>省</b> 設定	ログ	<b>《</b> 情報			
	ELECOM					- 23			
	ID F:	ライブ	サイズ()0	3)					
	適用								
	< ELEC	COM							
_									
5			適用			ボタ	ンをクリ	ックしき	ます。
(	G-Locł	くを閉	じます	þ					



## ドライブをバックアップするには

仮想ドライブを単一のファイルとして保存し、別メディアに保存してバックアップします。バックアップファイル(G-Lock イメージファイル)は拡張子 img のファイルです。 リストア(戻す)するときに利用します。

 ・Windows\*XP/2000の場合は、管理者(Administrator)権限を持つユーザアカウントでWindows にログオンしてください。

・バックアップファイルのリストアには、バックアップ時と同じ USB キーが必要です。

- ✓本製品をパソコンのUSBポートに接続します。
- **2** タスクトレイに表示されているG-Lockアイコンをダブルクリックします。

G-Lock が表示されます。										
G-Lock	📽 G-Lock									
追加	<b>※</b> 削除	<b>运</b> 。 編集	<b>省</b> 設定	<b>正</b> ログ	<b>《</b> 情報					
ELECOM					- 23					
ID F:	ライブ	サイズ()	B)							
0 I:		10								
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·										
10月										
< ELEC	OM									

3 バックアップするドライブを選択し、 ポタンをクリックします。

	ドライブを	変更する	画面が表示されます	す。	
	ドライブ設定(変更	D			
	割当ドライブ:	文字 <sup>、</sup>	サイズ(MB)		
	1:	•	10		
	ストレージド	ライブ ほ	<b>暗号化先ドライブサイズ</b>		
	C: #호루/▷→→ /	<u></u>			
	e drive	·レ-日和小	バックマック		
	Jozanno				
			確定取り消し		
4	バックア	ップ オ	ドタンをクリックし	ます。	
	イメージフ	'ァイルを	保存する画面が表え	示されます。	
	イメージファイルの保	存			?
	保存する場所の	🔁 マイ ドキュメント	•	+ 🗈 💣 💷	
		マイ ピクチャ			
	最近使ったファイル	■ ¥1 CFA ■ ¥1 CFA ■ ¥1 CFA			
	デスクトップ				
	6				
	۲۲ ۴キュメント				
	74 7.18-1-10				
	マイ ネットワーク				
		ファイル名(N):	Sample50.img	•	保存(S)
		ファイルの種類(①)	G-Lock イメージファイル(*.img)	•	キャンセル

**5** ファイルを保存する場所とファイル名を入力し、<u>保存</u>SMM ボタンをクリックしま

	<b>す。</b> 手順 3 で表示された画面に戻りま <sup>-</sup>	す。
5	ボタンをクリックします。 手順 2 で表示された画面に戻りま <sup>-</sup>	す。
7	適用	ボタンをクリックします。
	G-Lock を閉じます。	



## ドライブをリストアするには

バックアップした仮想ドライブのバックアップファイル(G-Lock イメージファイル)を リストア(戻す)します。

- ・Windows®XP/2000の場合は、管理者(Administrator)権限を持つユーザアカウントでWindows にログオンしてください。
  - ・バックアップファイルのリストアには、バックアップ時と同じ USB キーが必要です。
  - ✓本製品をパソコンのUSBポートに接続します。
  - **2** タスクトレイに表示されているG-Lockアイコンをダブルクリックします。

G-Lock が表示されます。

🐝 G-L	ock						
● 追力		<b>※</b> 削除	<b>运</b> 。 編集	<b>省</b> 設定	ログ	<b>《</b> 情報	
ELECC	M					- 23	
ID O	<u>ドラ</u> ]:	イブ	サイズ(ME 10	3)			
適用							
ج ا	ELECO	M					

3 当 ボタンをクリックします。

ドライブを追加する画面が表示されます。

ドライブ設定(追加)	
割当ドライブ文字	サイズ(MB)
E: .	• 10 ÷
ストレージドライブ	暗号化先ドライブサイズ
C:	28414
暗号化ファイル名称	
	リストア
	確定取り消し

*4* <u>リストア</u>ボタンをクリックします。

イメージファイルを選択する画面が表示されます。

イメージファイルから	復元する。				? 🔀
ファイルの場所型:	📋 マイ ドキュメント		•	+ 🗈 💣 💷	
6	🔁 マイ ピクチャ 🛅 マイ ビデオ				
Recent	🚵 マイ ミュージック				
	e_drive.img				
デスクトップ					
ک ۲۲ (۲۴ کر					
<b>יב</b> שעב איד					
🧐 २१ २७-७					
		e_drive.img		•	開(@)
	ファイルの種類(工):	G-Lock イメージファイル(*.img)		•	キャンセル

ドライブ設定(追加)	
割当ドライブ文字	サイズ(MB)
E:	• 10
ストレージドライブ	暗号化先ドライブサイズ
C:	28414
暗号化ファイル名称	
e_drive1	リストア
	確定取り消し

CR-UK3 ソフトウェアユーザーズガイド



<i>6</i> 割り当てるドライブ文字を選択し、 <u>確定</u> ボタンをクリックします。
仮想ドライブが作成され、手順2で表示された画面に戻ります。
SG-Lock
三字 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2
ELECOM
<u>ID ドライブ サイズ(NB)</u>
$\begin{bmatrix} 10 & 1 & 10 \\ 1 & E^2 & 10 \end{bmatrix}$
適用
< ELECOM
復元された仮想ドライブは、バックアップしたファイルの内容を再現しています。 再びフォーマット などの作業を行うは必要はありません。
7 適用 ボタンをクリックします。
G-Lock を閉じます。



## Web ロックや PC ロック機能を使う

USB キーをパソコンから取り外したときに、パソコンをロックして他人の操作を防ぎます。 ロック機能には、インターネットの接続をロックする Web ロック(インターネットの禁止)機能と、パソコンをスクリーンセーバーにして操作を受け付けなくする PC ロック機 能があります。

- Windows®XP/2000の場合は、管理者(Administrator)権限を持つユーザアカウントでWindowsに ログオンしてください。
  - 1 本製品をパソコンのUSBポートに接続します。

**2** タスクトレイに表示されているG-Lockアイコンをダブルクリックします。

🐝 G-Lock					
追加	<b>※</b> 削除	<b>运</b> 編集	<b>資</b> 設定	<b>ロ</b> グ	<b>《</b> 情報
ELECOM ID ドラ	ライブ	「サイズ()L	B)		<u> </u>
0 I: 1 E:		10 10			
		適	用		
< ELEC	OM				

## **3** 🧃 ボタンをクリックします。

設定画面が表示されます。

🐝 設定 📘	<
キーの名称 ELEOOM 「主要キー 一新しいISB Leyの追加を無効にする 「 " 自聞" ボタンを無効にする 「 " 福集" ボタンを無効にする 「 " 福集" ボタンを無効にする 『 『 記" ボタンを無効にする 『 記" 記述 のとロック 「 PCロック 」 PCロック 「 自動ログオン 「 自動ログオフ	
OK キャンセル	





4 利用したい機能に応じて、「Webロック」チェックボックスや「PCロック」チェックボックスをチェックします。

✓ Web ロックの機能を有効にします。
✓ PC ロックの機能を有効にします。

PC ロックの機能を有効にしま

インターネットの利用を禁止

USB キーをパソコンから取り外すと InternetExplore(6.0 かそれよ り新しいバージョン)を一時的にロックして利用できなくします。 InternetExplorer を実行しようとすると、「Access Denied」とロッ クしている旨のエラー画面を表示します。InternetExplorer5.0(そ れより古いバージョンも含む)および InternetExplorer 以外の web ブラウザにはロックがかかりません。

PC ロック USB キ

USB キーをパソコンから取り外すとすぐにスクリーンセーバー が起動し、何も操作を受け付けません。再び USB キーをパソコン に接続すると、スクリーンセーバーが解除されます。 PC ロックを有効にし、さらに USB キーを接続していない状態で パソコンを起動すると、パソコン起動後すぐにスクリーンセー バーが起動します。

**5** <u>ok</u> ボタンをクリックします。 手順2の画面に戻ります。



G-LOCK の画面が闭し、設定を有効にしる



・ PC ロック機能を有効にした場合で、USB キーを接続せずにパソコンを起動すると、起動後はす ぐにスクリーンセーバーの状態になります。

 スクリーンセーバーの種類は、コントロールパネルにある画面のプロパティのスクリーンセー バータブで変更することができます。ます。

画面のプロパティ ? 🔀
テーマ デスクトップ スクリーン セーバー デザイン 設定
- C
スクリーン セーバー(S) Windows XP ■ 試定① ブルビュー公
待ち時間(W): 7 ♀ 分 □パスワードによる保護(P)
モニケ電源 モニタの電源設定を変更し、電力の消費を抑える には、電剤を対ックしてください。 電源②-
OK         キャンセル         通用(A)
WindowsXP のスクリーンセーバー設定例

・設定を無効にしたい場合は、チェックボックスのチェックを外してください。





ログオン機能を有効にすると、Windows のログオン画面で USB キーをパソコンに接続 すると、あらかじめ設定しておいたユーザーで自動的にログオンします。



ログオン機能を利用して高度なセキュリティーも可能です。

例えば、先生が主要キーを持ち、生徒(またはグループ)には USB を渡します。生徒に渡した USB キーにはあらかじめログオンできるユーザーアカウントを設定します。
1 台の共有パソコンがあり、Windows を起動してログオン待ちの状態にしておきます。
USB キーを接続すると自動的にログオンします。パスワードなどは入力の必要がありません。パスワードを伝えて共有するわけではありませんのでパスワード漏洩の心配がなく、USB キーを使用しない場合とくらべて高いセキュリティーを確保できます。

またログ機能や自動ログオフ機能と組み合わせることで、USB キーをパソコンから取り 外すと自動ログオフし(自動ログオフ機能)、万ートラブルが起きたときでもどのユー ザーアカウントで問題が発生したか(どの USB キーを取り付けていたかログを見るとわ かります)トラブル解決の手助け(ログ機能)となります。

さらに、主要キーと配下の USB キー以外のログオンを禁止したい場合は、PC ロック機 能を有効にしてください。未設定の USB キーや USB キーなしの場合、パソコン使用を 使用できなくします。Windows にはログオンできますが、ログオン後すぐにスクリー ンセーバー状態になりますので操作できません





USB キーをパソコンから取り外すと、自動的にログオフし、パソコンはログインの入力 待ち状態になります。

- Windows®XP/2000 の場合は、管理者(Administrator)権限を持つユーザアカウントでWindowsに ログオンしてください。
  - ✓本製品をパソコンのUSBポートに接続します。

**2** タスクトレイに表示されているG-Lockアイコンをダブルクリックします。

G-Lock が表示されます。



**3** *新タンをクリックします。* 設定画面が表示されます。

議定
キーの名称 ELECOM 「主要キー 「新しいIBB Keyの追加を無効にする 「"追随"ポタンを無効にする 「"調解"ポタンを無効にする 「"調解"ポタンを無効にする 「"調整 「たひっク 「PCロック 目動ログオン 目動ログオフ
OK キャンセル

「主要キー」と「自動ログオン」チェックボックスをチェックします。 「自動ログオン」チェックボックスをチェックすると、自動ログイン設定画面が表示されます。

ik de 🔀
キーの名称 ELEDOM ▼ 主要キー 「新しいIJSB Keyの追加を無効にする 「 " 追加" ボネンを無効にする 「 " 御除" " ボネンを無効にする 「 " 調定" " ボネンを無効にする 「 " 認定" " ボネンを無効にする 「 " 認定" " ホタンを無効にする 「 " 記して、 「 " しいでする 「 " 自動ログオン ■ 自動ログオン
OK ++>セル



	・ ・ ・ 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、
	▲ 自動ログオン設定           ユーザ名         フルネーム         ドメイン           Administr         WHXP           ASPNET         ASP.NET
	ユーザ名 ドメイン パスワード OK キャンセル
	<b>7</b> <u>or</u> ボタンをクリックします。 手順2の画面に戻ります。
	<i>8</i> 適用 満用 ボタンをクリックします。
_	G-Lock の画面が閉じ、設定を有効にします。
-A	設定を無効にしたい場合は、「自動ログオン」チェックボックスのチェックを外してください。

## 5 リストからログインするユーザーアカウントを選択し、パスワードを入力します。



## ログオフ機能を使う

USB キーをパソコンから取り外すと、自動的にログオフし、パソコンはログインの入力 待ち状態になります。

- Windows®XP/2000の場合は、管理者(Administrator)権限を持つユーザアカウントでWindowsに ログオンしてください。
  - ┦本製品をパソコンのUSBポートに接続します。
  - **2** タスクトレイに表示されているG-Lockアイコンをダブルクリックします。

G-Lock が表示されます。

G	Lock					
」 追	<b>3</b> 加	■ 削除	<b>〔</b> ] 編集	<b>省</b> 設定	ログ	<b>《</b> 情報
ELE ID 1	СОМ == == == == = == == = == = == =	マイブ	<mark> サイズ(ME</mark> 10 10	3)		
			適	用		
۲	ELECO	M				

**3** ボタンをクリックします。 設定画面が表示されます。

🔏 設定 🔀
キーの名称
ELECOM
<ul> <li>「主要キー</li> <li>「新しいISB Renの: 追加本無効にする」</li> <li>「道加" ボタンを無効にする</li> <li>「" 道塚" ボタンを無効にする</li> <li>『 雅雯" ボタンを無効にする</li> <li>『 福安" ホタンを無効にする</li> <li>「 Webロック</li> <li>「PCロック</li> <li>「PCロック</li> <li>「自動ログオン</li> <li>「 自動ログオフ</li> </ul>
OK キャンセル



	4 「自動ログオフ」チェックボックスをチェックします。 チェックすると、自動ログオフを有効にします。 ※ 第 「 *の名称 「 「 のの) 「 ま要キー 「 新しいNBR # がとる無効にする 」 * 第 2 * * * * * * * * * * * * * * * * *
	<b>5</b> <u>ok</u> ボタンをクリックします。 手順2の画面に戻ります。
	ば用 ボタンをクリックします。     G-Lock の画面が閉じ、設定を有効にします。
127	設定を無効にしたい場合は、「自動ログオフ」チェックボックスのチェックを外してください。



## ログを表示する

USB キーを利用したログイン/ログアウトのログを表示します。

 ・Windows®XP/2000の場合は、管理者(Administrator)権限を持つユーザアカウントでWindows にログオンしてください。
 ・ログを記録するには、ログオン機能を有効にしてください。

ログは保存できません。	~	
	-S	ログは保存できません。

### 1 本製品をパソコンのUSBポートに接続します。

**2** タスクトレイに表示されているG-Lockアイコンをダブルクリックします。

G-Lock	が表え	示されま	ミす。		
G-Lock					
<mark>子</mark> 追加	<b>※</b> 削除	<b>〔</b> ] 編集	が 設定	<b>正</b> ログ	<b>《</b> 情報
ELECOM					- 23
ID F 0 I: 1 E:	ライブ	サイズ(M 10 10	B)		
		適	间		
< ELEC	OM				

#### **3** *<sup>II</sup>* ボタンをクリックします。

ログが表	示されます。				
uð					
種類 LOCON	日付 時間	コーザ名 FLFCOW	キー名称 FL FCOM		
LOGOFF	08-23-2005 12:09:03	ELECOM	ELLOOM		
		消去	E OK		
<b></b>	 ログインやロ	グアウトの	の種類を実っ	I こします	
但供	いつおこかわ	ノノ ノー 。 わたか日6	北を表示しき		
時間	いつおこかわ	わた時間を	を主示します	× 2 %	
「     コ _ ギタ	ドクシンなわ		2 扱小しよう 、 のっ 二 ぜ	'。 アカウント)がおこかったかを	主ティ
ユーリロ	このユーリー	(vinuows	5 01-9.	ブガランド)がおとなうたがをき	夜小し
+ 00	あり。 む 住田さねま ロ	0D+ 0	<i>点头</i> ;+;==		
キー名名	你 使用された し	SB キーの	名則を衣示	します。USB キーに名削が付け	<i>ก</i> 511
	ていない場合	は空傾にん	よりより。		
消去	ホタン				
	消去 ホタ	ンをクリ	ックすると、	表示されているログを消去し	ます。
	「ボタンをクリ」	ックレキオ	-		
 	ホノンをノノ、	///////////////////////////////////////	0		
于順2の	回田に戻ります。	•			
	適用	7	ボタンをクリ	ノックします。	
G-Lock (	の両面が閉じ、緊	定を右効	にします		
U-LUCK		KVE.G.H.XU	にしみッ。		





特定の USB キーを管理者用のキー(主要キー)として設定し、その他の USB キーの動作 を制御します。複数の USB キーを利用して運用する場合に使用します。

例えば学校などで USB キーを運用する場合、先生が管理者用の USB キーを1つ所持し、 生徒も USB キーを持ちます。生徒が持つ USB キーは管理者用 USB キーの設定により、 あらかじめ許可された機能のみ利用できます。



### 制限できる機能

次の内容を、設定画面の主要な設定から設定できます。





主要キー機能が有効のとき

主要キー	現在使用している USB キーを主要キーとして設定し、主要キー機能を有効にします。
新しい USB Key の追加	USB キーの増設を禁止します。
を無効にする	主要キー機能を有効にしている場合のみ設定できます。
追加ボタンを無効にする	バーチャルディスク機能のうち、仮想ドライブの追加を禁止します。
削除ボタンを無効にする	バーチャルディスク機能のうち、仮想ドライブの削除を禁止します。
作成ボタンを無効にする	バーチャルディスク機能のうち、仮想ドライブの変更を禁止します。
設定ボタンを無効にする	設定画面を表示できなくします。
	主要キー機能を有効にしている場合のみ設定できます。
自動ログオン	ログオン画面で、USB キーをパソコンに接続すると、あらかじめ設定しておいたユー
	ザーで自動的にログインします。
	主要キー機能を有効にしている場合のみ設定できます。



### 主要キー機能の利用例

設定を工夫することで、いろいろな利用方法が考えられます。 下記は利用例です。

### ■先生のみ仮想ドライブを利用する

先生のみが仮想ドライブを利用してドライブを作成し、そのドライブには他人に見られ たくない資料などを保存します。 先生が使用する USB キーがパソコンに接続されている場合のみ仮想ドライブが表示さ れますので、他の USB キーを使用している生徒にはドライブは見ることも、作成する こともできません。 さらに PC ロック機能を有効にしているため、第三者が勝手にパソコンを使用できません。





(M) ディスク (M)

仮想ドライブが表示さ れます。





仮想ドライブは表示さ れません。









## 主要キー機能を使う

次の手順で主要キー機能を設定するための主要な設定を表示します。

Windows®XP/2000 の場合は、管理者(Administrator)権限を持つユーザアカウントでWindowsに ログオンしてください。

- ✓ 本製品をパソコンのUSBポートに接続します。
- **2** タスクトレイに表示されているG-Lockアイコンをダブルクリックします。

G-Lock が表示されます。

🐔 G-Lock					
<b>子</b> 追加	<b>※</b> 削除	<b>运</b> ੍ 編集	<b>新</b> 設定	ログ	<b>《</b> 情報
ELECOM	• •*				- 23
	ライフ	<u>サイズ(M</u> 10	B)		
I E:		10			
		1.55			
		旭	ж		
< ELEC	OM				
.or					

**3** (派) ボタンをクリックします。 設定画面が表示されます。

🤹 設定 🔀
<b>キーの名称</b> ELECOM ■ 新しいISB Keyの追加を無効にする ■ 消しいISB Keyの追加を無効にする ■ 消費。 ポタンを無効にする ■ 消費。 ポタンを無効にする ■ 消費。 ポタンを無効にする ■ NBC ロック ■ PCロック ■ 自動ログオン ■ 自動ログオフ
OK キャンセル

4 USBキーを識別するため、キーの名称を入力します。

キーの名称 ELECOM
<ul> <li>□ 主要キー</li> <li>□ 新しいISB Keyの追加を無効にする</li> <li>□ 通知: ボタンを無効にする</li> <li>□ 消算: ボタンを無効にする</li> <li>□ 消算: ボタンを無効にする</li> <li>□ 消算: ボタンを無効にする</li> <li>□ 消算: ボタンを無効にする</li> <li>□ 酸ロック</li> <li>□ 自動ログオン</li> </ul>



🖏 設定	X
<ul> <li>キーの名称</li> <li>FileCOM</li> <li>「主要キー</li> <li>「新しいUSB Keyの追加を無効にする</li> <li>「御除"ボタンを無効にする</li> <li>「御除"ボタンを無効にする</li> <li>「護定"ボタンを無効にする</li> <li>「愛証"、「ないを無効にする</li> <li>「愛証"、「ないを無効にする</li> <li>「書」</li> <li>「目勤ログオン</li> <li>「自動ログオン</li> </ul>	
OK ++>セ	n

**5** 制限するチェックボックスをチェックします。

主要キー機能を有効にしている場合のみ設定できる項目あります。その場合は、「主要キー」チェックボックスをチェックしてから選択してください。

主要キー	現在使用している USB キーを主要キーとして設定し、主要キー機能を有効にします。
新しい USB Key の追加	USB キーの増設を禁止します。
を無効にする	主要キー機能を有効にしている場合のみ設定できます。
追加ボタンを無効にする	バーチャルディスク機能のうち、仮想ドライブの追加を禁止します。
削除ボタンを無効にする	バーチャルディスク機能のうち、仮想ドライブの削除を禁止します。
作成ボタンを無効にする	バーチャルディスク機能のうち、仮想ドライブの変更を禁止します。
設定ボタンを無効にする	設定画面を表示できなくします。
	主要キー機能を有効にしている場合のみ設定できます。
自動ログオン	ログオン画面で、USB キーをパソコンに接続すると、あらかじめ設定しておいたユー
	ザーで自動的にログインします。
	主要キー機能を有効にしている場合のみ設定できます。
	「自動ログオン」チェックボックスをチェックす 🍕 自動ログオン武定 💷 🔲 🔲
	ると、自動ログイン設定画面が表示されます。
	リストからログインするユーザーアカウントを選 ASPNET ASP.NET WIIIP
	択し、パスワードを入力します。
	Windows に発信されていてっ、ザーマカウン
	Windows に豆球されているユーリーアガウン ユーザ名 Administrator
	パスワード
	リストで選択されたユーザーアカウントのパー の キャンセル

6 \_\_\_\_к ボタンをクリックします。









## G-Lock のバージョンを表示する

G-Lock のバージョンを表示します。

- Windows®XP/2000 の場合は、管理者(Administrator)権限を持つユーザアカウントでWindowsに ログオンしてください。
  - ┦本製品をパソコンのUSBポートに接続します。
  - **2** タスクトレイに表示されているG-Lockアイコンをダブルクリックします。

G-Lock       ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●	G-LOCK か衣示さ	れます。			
	S-Lock				
ID       ドライブ       サイズ(NE)         0       I:       10         1       E:       10         ieit       10       ieit         ieit       ieit       ieit       i	■ 2000 100 100 100 100 100 100 100 100 10	<b>₹ 1</b> 〕 〕 〕 】 】 】	<b>正</b> ログ	<b>《</b> 情報	
ID       ドライブ       サイズ(ME)         0       I:       10         1       E:       10         image: imag	ELECOM			- 23	
i       iii       iiii         i       iiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiii	ID ドライブ サイ	ズ(MB)			
適用 <ul> <li></li></ul>	1 E: 10				
適用         < ELECOM					
適用 <ul> <li>ELECOM</li> <li>ディタンをクリックします。</li> <li>情報画面が表示されます。</li> </ul> <ul> <li>バージョン情報を確認できます。</li> </ul> バージョン情報を確認できます。 <ul> <li>G-Lock Version 1.06.28             <ul> <li>〇K</li> <li>ボタンをクリックします。</li> <li>情報画面を閉じ、手順2の画面に戻ります。</li> <li> <ul> <li>適用</li> <li>ボタンをク</li> <li>G-Lock の画面が閉じます。</li> <li> </li></ul></li></ul></li></ul>					
<ul> <li>ELECOM</li> <li>ボタンをクリックします。</li> <li>情報画面が表示されます。</li> <li>バージョン情報を確認できます。</li> <li>グージョン情報を確認できます。</li> <li>「「」」」</li> <li>「」」」</li> <li>「」」</li> <li>「」</li> <li>「」</li> <li>「」」</li> <li>「」</li> <li>「」」</li> <li>「」</li> <li>「」」</li> <li>「」</li> <li>「」</li> <li>「」」</li> <li>「」」</li> <li>「」」</li> <li>「」」</li> <li>「」」</li> <li>「」」</li> <l< td=""><td></td><td>適用</td><td></td><td></td><td></td></l<></ul>		適用			
<ul> <li>ボタンをクリックします。</li> <li>情報画面が表示されます。</li> <li>バージョン情報を確認できます。</li> <li>「・ジョン情報を確認できます。</li> </ul>	ELECOR				
情報画面が表示されます。 バージョン情報を確認できます。 G-Lock Version 1.06.28 OK ボタンをクリックします。 情報画面を閉じ、手順2の画面に戻ります。 通用 ボタンをク G-Lock の画面が閉じます。	が 🕺 ボタンをク	リックしま	す。		
バージョン情報を確認できます。             「サレージョン情報を確認できます。             「G-Lock Version 1.06.28             ○K                 ○K	情報画面が表示さ	されます。			
バージョン情報を確認できます。          MH       Image: Constraint of the second s	,				
M#     Image: Constraint of the system       G-Lock Version 1.06.28       OK       Tok       Tok </td <td>バージョン情報を</td> <td>確認できる</td> <td>ます。</td> <td></td> <td></td>	バージョン情報を	確認できる	ます。		
G-Lock Version 1.06.28         OK         のK         ボタンをクリックします。         情報画面を閉じ、手順2の画面に戻ります。         適用         ボタンをク         G-Lock の画面が閉じます。	情報				
G-Lock Version 1.06.28         OK       ボタンをクリックします。         「報画面を閉じ、手順2の画面に戻ります。         適用       ボタンをク         G-Lock の画面が閉じます。	•				
OK       ボタンをクリックします。         「報画面を閉じ、手順2の画面に戻ります。         適用       ボタンをク         G-Lock の画面が閉じます。	C Luch Ver	¥			
OK       ボタンをクリックします。         「「報画面を閉じ、手順2の画面に戻ります。         適用       ボタンをク         G-Lock の画面が閉じます。	G-Lock Vers	10n 1.06.28			
OK       ボタンをクリックします。         情報画面を閉じ、手順2の画面に戻ります。         適用       ボタンをク         G-Lock の画面が閉じます。	OI	ζ			
● OA       パタンをクリックします。         情報画面を閉じ、手順2の画面に戻ります。         適用       ボタンをク         G-Lock の画面が閉じます。				<del>.</del>	
情報画面を閉じ、手順2の画面に戻ります。 <u> 適用 </u> ボタンをク G-Lock の画面が閉じます。		/をクリッ? 		<b>9</b> .	
<u>適用</u> G-Lock の画面が閉じます。	情報画面を閉じ、	手順2の	<u> </u> 自 自 に )	実ります	Г <sub>0</sub>
G-Lock の画面が閉じます。	適	用		ボタン	をク
	G-Lock の画面が	閉じます。			





USB キーをなくしてしまったり、合鍵を作ることで複数の人数で USB キーを有効にし たいときなど、同じ機能を持つ USB キーを複製できます。 USB キーを複製するにはシリアル番号とパスワードが必要です。





G-Lock は同じ USB キー と認識します

後から購入した USB キー

1 マスターキー(合鍵のための複製元となるキー)用のシリアル番号およびパスワード を用意します。

 $m{2}$  新しいUSBキーを購入します。

 一度もパソコンヘインストールされたことのない、新しい USB キーが必要です。KeyID は、一度入 力すると変更できません。必ず KeyID を入力していない USB キーをご用意ください。

3 PCロック機能が有効になっている場合であれば、設定を解除し、Windowsを終了 します。

マスターキーをパソコンから取り外していても、パソコンが使用できる状態にしてください。

- 4 マスターキーをパソコンから取り外します。
- 乞 手順2で購入した新しいUSBキーをパソコンに接続し、Windowsを起動します。
- Windows®XP/2000 の場合は、管理者(Administrator)権限を持つユーザアカウントでWindowsに ログオンしてください。

>シリアル番号の入力画面が表示されます。手順1で用意したマスターキー(合鍵のための複製元となるキー)用のシリアル番号およびパスワードを入力します。

手順2で購入した新しい USB キーに添付しているシリアル番号は使用しません。

8 OKボタンをクリックします。

これで、USB キーの合鍵が作成できました



## G-Lock をアンインストールする

G-Lock をアンインストールする方法について説明しています。

- 使用するパソコンにネットワーク経由でログインするドメインユーザーについて、G-Lock をインス **.** トールできますが、ログを表示したり、アンインストールはできません。 ドメインユーザーのログインおよびログオフはログ機能により保存されます。 G-Lock をアンインストールするときは、ネットワーク経由ではなく、アンインストールするパソコ ンを管理者が直接操作してください。
  - **1** パソコンにUSBキーを接続します。
  - 2 WindowsXPをお使いの場合は「スタート」-「コントロールパネル」の順に選択し ます。WindowsXP以外の場合は「スタート」-「設定」-「コントロールパネル」 の順に選択します。
    - コントロールパネルが表示されます。
  - **3** 「プログラムの追加と削除」をクリック(WindowsXP以外の場合はダブルクリッ ク)します。



4 リストから「G-Lock」を選択し、変更ビ削除」ボタンをクリックします。 確認の画面が表示されます。



これで、G-Lock をアンインストールできました。



## こまったときは

USB キーをご利用になるときのよくある質問についてまとめています。

### USB キーをなくしてしまいました。以前作成したバーチャルディスクにアクセスす るにはどうすればよいですか?

新しい USB キーをご購入いただき、以前の USB キーのシリアル番号とパスワード を使用してください。

USB キーを紛失してしまったときの用心のためにも、シリアル番号とパスワードは忘れないようにしてください。また、シリアル番号やパスワードをメモした場合、メモした内容を第3者に知られないようにしてください。

(以前の USB キーで使用していた)パスワードを忘れてしまった場合、新しい USB キーは、以前の USB キーとして複製できますか?

いいえ、以前の USB キーのシリアル番号やパスワードを忘れてしまった場合は、 USB キーを複製できません。

### インストールしたときと異なる USB ポートに接続すると、インストール画面が表示 されてしまいます。

USB の仕様により、同じパソコンでも違う USB ポートに USB キーを初めて接続し たときは、USB キーのインストール画面が表示されてしまいます。 あらかじめ USB キーを管理・設定する方がパソコンのすべての USB ポートに USB キーを接続し、認識させておくことをおすすめします。

**パスワードを入力せず、シリアル番号だけで USB キーを使用できますか?** はい、使用できます。パスワードを忘れてしまう心配があるときはシリアル番号だ けでも運用できます。セキュリティーのためにも、シリアル番号とパスワードの両 方を使用して運用することをおすすめします。

インストール終了後、USB キーが使用できません。 正しくドライバをインストールできたか確認してください。 わからない場合は、一度アンインストールを実行して、再度インストールしてくだ さい。

バーチャルディスクを CD-ROM などにバックアップできますか? はい、バックアップできます。 バックアップしたドライブのイメージファイルを CD-ROM に保存してください。 バックアップしたイメージファイルは再度ドライブに復元(リストア)できます。

**ひとつの USB キーでバーチャルディスクを何ドライブ作成できますか?** 4 つまで作成できます。5 つ以上のバーチャルディスクを作成する場合は新しい USB キーを使用してください。



作成できるバーチャルディスクの最大容量はどの程度ですか? WindowsXP と Windows2000 の場合は最大 4GB です。Windows98SE と WindowsMe の場合は 2GB になります。

**正しい USB キーを接続しているのにもかかわらず、PC ロック機能を有効にしてパ ソコンを再起動すると、パソコンがロックされてしまいました。** USB ハブに USB キーを接続していませんか? USB ハブではなく、パソコンの USB ポートに直接接続して使用してください。 パソコンの USB ポートに USB キーを接続して、Windows を再起動してください。

USB キーのインストールが完了しているパソコンに USB キーを接続しましたが、 USB キーのパスワードやシリアル番号の入力が要求されません。どうでしてですか USB キーのパスワードやシリアル番号の情報は、USB キーに保存されます。 このため一度設定したパスワードやシリアル番号はパソコンが変わっても再度入力 を要求されることはありません。

**Web ロックが有効ではありません** Netscape Communicator を使っていませんか? USB キーの Web ロック機能は、InternetExplorer の 6.0 以降のバージョンのみサ ポートしています。それ以外の Web ブラウザでは、Web ロックは有効になりませ ん。

グループのユーザー間の USB キーを識別するにはどうすればよいですか?
 管理者として設定する USB キーや、一般の USB キーも同じ製品を使用しています。
 そのため見た目はかわりません。
 G-Lock から USB キーに名前を付けるか、USB キーそのものにステッカーを貼るなどして識別してください。

他のパソコンで USB キーは使えますか? はい、使用できます。使いたいパソコンにドライバと G-Lock をインストールして ください。

USB キーを接続してバーチャルディスクとして使用しているとき、操作を誤ってド ライブのイメージファイルを削除してしまいました。どうすればよいですか? リストア機能を使って、あらかじめバックアップ済のイメージファイルからリスト アしてください。

### 本人が作成したバーチャルディスクのイメージファイルを、他人が削除できます か?

はい、削除できます。イメージファイルの中身は読めませんが、削除される可能性 はあります。

バーチャルディスクに大切なファイルが入っている場合は、イメージファイルの バックアップをとることをおすすめします。



#### バーチャルディスクにアクセスできなくなりました

ハードディスクに保存されているバーチャルディスクのイメージファイルが破損し ていないか確認してください。イメージファイルが一部分でも破損してしまうと、 バーチャルディスクのドライブ全体にアクセスできなくなります。

他のアカウントで作成したイメージファイルが読めない場合は、イメージファイル の保存場所に問題があることがあります。複数のアカウントで同じバーチャルディ スクを使用する場合は、他のアカウントがアクセスできるフォルダに配慮して、イ メージファイルを作成してください。現在使用中のアカウントでアクセスできてい ても、他のアカウントでアクセスできない場合はイメージファイルを使用できませ ん。

#### ログが表示されません

ログオン機能が有効になっていますか? ログオン機能を有効にしないとログが記録されずログが表示されません。

USB キー CR-UK3 ソフトウェアユーザーズガイド 発行 エレコム株式会社 2005 年 10 月 20 日 第 1 版 ©2005 ELECOM Corporation. All rights reserved.

CR-UK3 ソフトウェアユーザーズガイド